

31044 終末期看護論 Theory of Terminal patient Nursing		4 年次 前期 2 単位	
担当者	直成 洋子／山岸 千恵／栗原 加代／久保川 真由美	履修可能学科	N必
		関連資格	看護 (N)
サブタイトル			
授業内容 ・ ねらい	1) 施設や在宅において終末期にある対象の身体的、心理的状態について理解し、看護職者の支援方法を学び、さらに対象家族の看取りへの支援と悲嘆のプロセスについて学習する。 2) 終末期看護におけるインフォームドコンセントおよび倫理的問題について学習する。 3) 各ライフサイクルにある終末期の看護展開についていくつかの事例を用いて、看護上の問題と看護介入について学習する。		
授業計画	1.終末期とは 終末期看護の概念および特徴 終末期におけるインフォームドコンセントおよび倫理的問題 2.身体的苦痛とその緩和① 3.身体的苦痛とその緩和② 4.精神的・社会的苦痛とその緩和 5.クリティカルな状態から終末期をむかえるときの看護 6.慢性的な経過から終末期をむかえるときの看護① 7.慢性的な経過から終末期をむかえるときの看護② 8.老年期のターミナルケア① 9.老年期のターミナルケア② 10.在宅でのターミナルケア① 11.在宅でのターミナルケア② 12.終末期にある人と家族の理解看取りとグリーフケア ① 13.終末期にある人と家族の理解看取りとグリーフケア ② 14.終末期にある人の看護過程の展開 15.終末期看護まとめとポイント		
教科書 参考書	参) 1.k.k.キューブラほか 鳥羽研二監訳 エンドオブライフ・ケア 医学書院 2.柏木哲夫ほか編 ターミナルケア 系統看護学講座 医学書院 3.氏家幸子監修 終末期にある患者の看護 成人看護学 廣川書店 4.木下康仁訳 死のアウェアネス理論と看護 医学書院 5.山口瑞穂子ほか監修 経過別看護 終末期 学研 6.金川克子ほか監修 認知症ケア・ターミナルケア 中央法規 7.E.キューブラー・ロス著 死ぬ瞬間、(続)、(新) 読売新聞社 8.山崎章夫 病院で死ぬということ 主婦の友社		
評価方法	出席日数、授業への参加度、筆記試験、レポート		
事前準備学習 履修条件等			